

午後試験

問 1

問 1 では、清涼飲料の市場予測を題材に、グラフの読取りと将来予測のための重回帰分析について出題した。全体としての正答率は高く、題意はおおむね理解されているようであった。

設問 2 の g と i の正答率の低さが目立った。g については、重回帰分析についてなじみの薄い受験者が多かったことが原因の一つと思われるが、問題文中の説明を読めば正解は導けるはずである。i については、特別な知識は必要ないので、慎重に計算すれば正解を導けるはずである。

問 2

問 2 では、グループウェアの導入を題材に、ソフトウェアパッケージの導入方法について出題した。問題によって正答率にばらつきがあり、理解にむらがあると思われる結果になった。

設問 1 では、b をウ、c をア、e をウ又はエとする誤った解答が多くみられた。どれも、問題文中に示されたライセンス条件を十分に理解できていないことが原因と思われる。

設問 3 では、h をウ又はエとする誤った解答が多かった。直後にある“システム要員が不足している”という記述に注意すれば、正解を導けるはずである。

問 3

問 3 では、食品スーパーの売上分析を題材に、各種集計表を使ったデータ分析について出題した。全体としての正答率は高く、題意はおおむね理解されているようであった。

設問 1 では、e をア又はイとする誤った解答が多くみられた。記述中の空欄を埋める問題では、個々の選択肢だけではなく、記述の中での前後関係や問題の状況設定も考え合わせて解答することを心がけてもらいたい。

設問 2 では、h をオ又はキとする誤った解答が多くみられた。この問題のように選択肢の表現がわずかず異なる場合は、その表現の差異に十分注意して解答する必要がある。また、j をエとする誤った解答も多くみられた。問われている時間帯を間違えたと思われることから、問題文を読む際、十分注意してほしい。

問 4

問 4 では、事業所内のネットワークを題材に、ネットワークの物理構成とアクセス制御について出題した。全体としての正答率は高く、題意は十分に理解されているようであった。

設問 1 の b をウ、設問 2 の c をイ又はオ、g をアとする誤った解答が比較的多かった。b については、ルータ 1 との接続を見落とした結果と思われる。c 及び g については、アクセス制御リストの許可と拒否を取り違えたことが原因と思われる。この問のアクセス制御リストは、明示的に拒否と指定されているアクセス以外はすべて許可する構成になっている。これは、外部と接続されていない小規模なネットワークで用いられることが多い構成である。

問 5

問 5 では、レンタカー会社の予約システムを題材に、E-R 図や DFD を用いたシステム設計について出題した。全体としての正答率は高かったが、問題によっては解答の選択にばらつきが見られるものもあった。

設問 2 の c ~ f は、基本的な問題でありながら、解答の選択にばらつきが見られた。図 1 と図 3 を基にエンティティ間の関連をたどっていけば正解を導けるはずの問題であり、関連についての理解が確実でないことが原因と思われる。

設問 3 では、j や k に比べて、l と m の正答率が低かった。DFD の一部分ばかりに注目してしまい、データの流れを含めた全体を見渡すことができていないことが原因と思われる。

問 6

問 6 では、生産計画の精度向上について出題した。一部の問題を除き、正答率は低かった。

現状分析から改善策の立案及び評価に至る設問の中で、表を読み解く問題（設問 1 の b ~ d , 設問 4 の n ~ p）と、改善案の考え方を流れ図で表現する問題（設問 3 の h ~ j）の正答率が特に低かった。

生産計画という業務自体になじみが薄く、状況設定、特に期限切れ製品や売上機会損失といった言葉に戸惑った受験者も多かったのではないかと思われる。初級システムアドミニストレータには、自分が経験したことのない業務についても基本的な知識を備え、その本質を適切に把握する能力が期待されている。そのためには、日々の情報収集を欠かさないようにしてもらいたい。

問 7

問 7 では、費用の試算を題材に、データベースからのデータ抽出と、表計算ソフトを使った試算モデルの実装について出題した。一部の問題を除き、正答率は低かった。

設問 1 の a , b では、主キーの概念が十分に理解できていないと思われる解答が多く見られた。“年代表”中の b の意味を正しく理解できていないことが、後続の SQL 文の穴埋めにも影響したようである。

設問 2 では、h 以外の問題で解答の選択にばらつきが見られた。試算に用いたモデルの理解が不十分だったことが原因と思われる。問題文中の状況記述から、試算の上でポイントとなる事項を整理できれば正解を導けるはずである。

設問 3 では、m の正答率が低かった。ワークシートの構成（各行や列が何を表し、互いにどのように関連しているか）を十分に理解できていないことが原因と思われる。